

平成28年2月2日

村上市長 高橋 邦芳 様

神林地区地域審議会
会長 大嶋 芳美

第2次村上市総合計画策定に向けての提言書

当地域審議会では、地域における「日常生活の課題と解決するための方向性」について審議いたしました。

その結果、下記については特に重要な事項であるとして、第2次村上市総合計画を策定するにあたり、ここに提言いたします。

記

1. 子育て世帯への支援について

子育て世帯の経済的負担や、働きながら子育てを行う世帯への支援が十分でないことが、少子化の一因になっています。当市においてもあらゆる分野で「子育て支援」の視点に立ち、子どもを産み育てることに喜びを感じられるよう、子育て世帯の経済的負担の軽減や、行政・地域・企業が一体となって子育てを支援する環境を整備する必要があります。

2. 買い物弱者への支援について

車の運転が困難で食料品や日常生活用品の買い物に困っている人（特に高齢者）が増えています。企業等と連携した買い物支援策を検討すると共に、地域や集落での支え合いの取り組みを支援し、地域住民の力を活用して買い物のみならず日常生活を支え合うしくみづくりを早急に推し進める必要があります。

3. 公共交通の整備について

公共交通の整備が十分でなく、買い物や通院等が困難な人が増えています。神林地区で利用できる「荒川・神林地区のりあいタクシー」は利用者が増加していますが、「通院対応のりあいタクシー」は利用者が増えない状況なので、その要因を分析し、のりあいタクシーの見直し・拡充や、他の公共交通の利便性を高める取り組みを進める必要があります。

4. 小・中学校の統合について

少子化により小・中学校の児童・生徒数が減少し、教育活動に支障をきたしています。神林地区では、市町村合併前の平成 19 年度に小・中学校の統合に関する答申が出されていますが未だに統合計画が具体化していません。合併後も児童・生徒の減少が進み、団体活動やクラブ活動が困難になってきていたり、数年後には複式学級となる学年も出現する見込みです。きめ細かな教育体制を維持しつつ、速やかに統合を進める必要があります。

5. 職員数の確保及び職員の資質向上について

職員数が減少し、住民サービスの低下が見られます。適正な職員数を確保し住民サービスの低下を防ぐとともに、職員のスキルアップや縦割り行政の解消を図り、地域住民や民間活力を活用した神林地区の活性化と、効率的・効果的な行政運営を推進する必要があります。

6. 産業の振興について

神林地区の主要産業である第一次産業が低迷し、また、観光資源を活用した産業化が進まず、就業人口の減少や地域産業が活性化しない要因となっています。神林地区においても観光や交流の拠点となる施設や観光ルートを整備するとともに、体験型観光の商品化・プログラム化、農林水産業の 6 次産業化を推進することで、交流・定住人口を増やし、地域産業を活性化する必要があります。

なお、地域審議会において審議された意見を別冊にまとめましたので併せて提言いたします。

日常生活の課題と解決に向けた方向性について

神林地区

現状と課題	解決するための方向性
<p>①子育て</p> <p>1. 子育て世帯の経済的負担や、働きながら子育てする世帯への支援の不足が、少子化の要因となっている。</p> <p>2. 子どもたちの遊び場等が整備されておらず、遊びを通して学ぶ経験が減少する要因となっている。</p> <p>3. 保育園で、幼児期の体力及び運動能力向上に対する取組がなく、体力や運動能力が低下する一因となっている。</p> <p>②買い物</p> <p>1. 集落内の店や行商人が減り、買い物に困っている人（特に高齢者）が増えている。</p> <p>2. 若者向けの店舗が少なく、若者は市外へ出かけて買物をしている。</p> <p>③交通</p> <p>1. 公共交通の整備が不十分で、買い物や通院等が困難な人が増えている。</p> <p>④教育</p> <p>1. 少子化で小・中学校の児童・生徒数が減少し、教育活動に支障をきたしている。</p> <p>2. 運動実施率が向上せず、運動不足の人が増えている。</p> <p>3. 子どもの教育ができない親が増えている。</p> <p>4. 学校支援地域本部事業と各地区まちづくり協議会との連携が不足しており、家庭・地域・学校が一体となった教育環境づくりが十分に推進されていない。</p> <p>5. スポーツ少年団などの過熱化により、単一種目集中傾向にあり、多種目経験ができない状況にある。</p>	<p>①子育て</p> <p>1. (1) 親が就労を希望する際の保育園の受け入れ態勢を整備する。 (2) 保育料の負担を見直す。 (3) 子育て世帯の公共料金の負担を見直す。 (4) 子育て支援センターの利用時間を拡大する。 (5) 公共施設に授乳・おむつ替え場所等を設置する。 (6) 子育て中の母親が集える場所・機会を整備する。 (7) 子育て支援サポート店（トキっ子くらぶ）加盟店への支援を行う。</p> <p>2. (1) 劣化・老朽化により使用できなくなった公園の遊具の修理・入替を行う。 (2) 悪天候時にも遊べる場所を整備する。 (3) 未就園児の「遊び、学び」の機会を拡充する。 (4) 豊かな自然を活用した公園を整備する。</p> <p>3. (1) 保育園における園児の体力・運動能力向上の取組みを推進する。</p> <p>②買い物</p> <p>1. (1) 企業等と連携した買い物支援体制（移動販売、配達サービス、支援組織等）を整備する。 (2) 買い物や日常生活の支援を、地域の支え合いで取り組むしくみを構築する。</p> <p>2. (1) 若者の市内での起業（出店）に対する支援を行う。</p> <p>③交通</p> <p>1. (1) のりあいタクシーの拡充を図る。 (2) 効率的な路線バスの運行を検討する。</p> <p>④教育</p> <p>1. (1) 神林地区小・中学校の統合を進める。 (2) 放課後の部活動・スポーツ活動に関し、学区を超えた取組体制を整備する。 (3) 小学校におけるチームティーチング等の取組みを拡充する。</p> <p>2. (1) スポーツ振興策を拡充する。</p> <p>3. (1) 親を対象とした講座などの充実を図る。</p> <p>4. (1) 各種団体が連携する取組みを強化する。</p> <p>5. (1) 子どもたちが様々なスポーツを経験できる取組みを推進する。</p>

現状と課題	解決するための方向性
<p>6. 食育が十分に浸透しておらず、「食」の大切さに対する子どもたちの意識がまだ低い。</p> <p>7. サイバー犯罪、ネットトラブル、ネットいじめ等が増加し、子どもたちが巻き込まれるケースも増えている。</p> <p>8. 防災教育が十分に浸透しておらず、子どもたちの災害等に対する危機管理意識が低い。</p> <p>9. 神林地区内の施設等を見学する機会が少なく、地区の良さを知らない子どもたちが増えている。</p> <p>10. 文化団体への加入者が減り、各団体の活動が困難となってきた。</p> <p>⑤行政</p> <p>1. 職員数の減少や職員の知識・意識の不足等が、住民サービスの低下や地域活性化が推進されない要因となっている。</p> <p>2. 縦割り行政や地区間格差が解消されておらず、効率的な業務の推進がなされていない。</p> <p>3. 民間活力の利用等がまだ十分でなく、地域全体を巻き込んだ活性化が遅れている。</p> <p>4. 計画づくりにおいて、若者の視点や地区をまたがる課題解決への視点が不足しており、効果的な計画となっていない。</p> <p>5. 保育士は臨時職員が増え、正職員が減り、保育に不安を感じる人も見受けられる。</p> <p>⑥その他</p> <p>1. 働く場所の不足、未婚者の増加、転入者が増加しないなどの問題により人口が減少し、地域の活力が低下している。</p> <p>2. 観光資源や農林水産資源を活用した取組みが進まず、地域産業が低迷している。</p>	<p>6. (1) 小・中学校において食育を推進する。</p> <p>7. (1) 子どもたちをネットトラブルやサイバー犯罪から守る取組みを強化する。</p> <p>8. (1) 小・中学校において防災教育を推進する。</p> <p>9. (1) 小・中学校において地域の魅力を学ぶ取組みを推進する。</p> <p>10. (1) 文化活動・文化団体への支援を強化する。</p> <p>⑤行政</p> <p>1. (1) 職員の資質向上のための研修を強化する。 (2) 適正な職員数を確保する。 (3) 定期的な人事異動・人事交流を行い、職員のスキルアップを図る。 (4) 業務の見直しを行い、効率的・効果的な行政運営を図る。</p> <p>2. (1) 同様の課題・目的に関し、課を超えて取り組む体制を強化する。 (2) 各種サービス等の見直しを行い、地区間格差を解消する。</p> <p>3. (1) 業務の見直しを行い、民間委託や施設の指定管理を促進する。</p> <p>4. (1) あらゆる計画づくりに、若者の意見を取り入れる機会を増やす。 (2) 計画づくりにおいては、地区ごとの課題や、地区をまたがる課題を整理し、効果的な計画策定を行う。</p> <p>5. (1) 保育士は、資格を持つ正職員の数を増やす。</p> <p>⑥その他</p> <p>1. (1) 企業誘致を推進する。 (2) 婚活事業を拡充する。 (3) 都市部からの移住等を推進する取組みを拡充する。 (4) 市の計画づくりに若者の意見を反映させる機会を増やす。</p> <p>2. (1) 観光や交流の拠点となる施設及び観光ルートを整備する。 (2) 体験型観光の商品化・プログラム化を推進する。 (3) 農林水産物の6次産業化を推進する。 (4) 地域産業の現状や基本的データを分析し、市外・県外への発信を推進する。</p>

現状と課題	解決するための方向性
<p>3. 病院の常勤医不足、病院整備の遅れ、福祉施設不足、ボランティア不足、高齢者世帯の増加などにより、医療・福祉体制への不安が大きくなっている。</p> <p>4. 外灯（防犯灯）が少なく、防犯上の不安を感じる所がある。</p>	<p>3. (1) 村上病院の早期建設を推進する。 (2) 健康寿命を延ばすための取組みを推進する。 (3) 地域医療体制の整備を強化する。 (4) 福祉施設の整備を推進する。 (5) ガン患者等へのケア体制を整備する。 (6) ボランティア育成への支援を強化する。</p> <p>4. (1) 防犯灯設置の助成を拡充する。</p>